

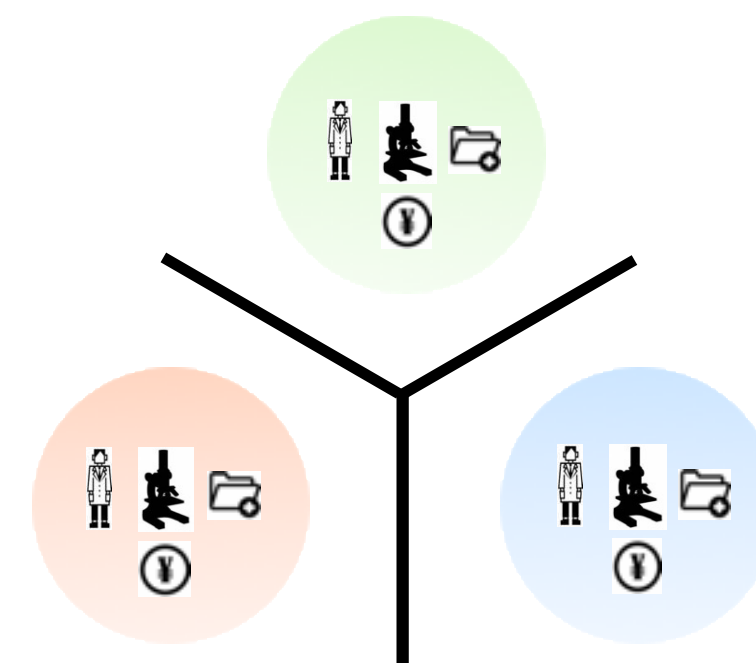
研究開発リソースシェアリングプラットフォームによる 既存資源を活かしたつくば活性化

株式会社Co-LABO MAKER 古谷優貴

提案の背景

Problem : イノベーションを阻害する組織間の障壁

現状、各研究開発組織の間に障壁があり、研究リソース（装置、技術者、技術データなど）が活かされていません。予算に対して研究開発コストが非常に高く、チャレンジが阻害されている一方で、各施設で遊休状態にある高額な装置も多数あり、設備も人も活かされていません。そこで、Co-LABO MAKERは、各研究機関にシステムとサポートを提供して、研究リソースをシェアするプラットフォームをつくり、イノベーションを促進します。



トライアル概要

コンセプト : 設備・技術を持つ人と、それを必要とする人が巡り会える

Co-LABO MAKERは、設備・技術を持つ人と、それを必要とする人が巡り会える場とサポートを提供します。安心して研究開発リソースを提供できるインフラを提供することで、各研究開発組織の間の障壁がなくなり、誰もが使いたい技術を使えるようにします。



ソリューション : 研究ネットワーク&トータルサポートシステム

研究リソースのデータベースを用いた探索や、取引を簡易にするWebシステム、専門的な仲介役を果たすコーディネートサービスなど、外部の研究リソース活用を円滑にするために必要なサポートをトータルで提供いたします。更に、設備破損のリスクを軽減できる、損害賠償保険も近く展開予定です。



チャレンジ : 研究都市「つくば」で研究エコシステムのロールモデルを形成

- 公的機関、民間を問わず活用できる研究補助インフラを提供し、研究都市「つくば」の研究開発リソースを最大限に活かせる研究エコシステムを作ります。
- つくば市にある各研究機関および企業の設備と技術を登録し、web上から申し込みできる状態を形成
- つくばの研究者（および元研究者のOBOG）に質問できる、コーディネータネットワークを形成
- 各研究機関向けの機能強化（内部の設備管理サポート・カレンダー予約等）

今後は、
・試作・量産設備への展開と他地域への範囲拡大
・知財保護の強化（規約整備、評価システム、遠隔実験システム導入等）
により、更に安心して使えるサービスにしていきます。



期待される効果・実現する未来社会

Vision : 誰もがやりたい研究を行える社会をつくる。結果、イノベーションが頻発する。

安心して研究開発リソースを提供でき、広められるインフラを提供することで、研究開発組織の間の障壁をなくし、研究設備・技術の循環を促進します。

- その結果、以下のようなことが期待されます。
- つくば市内の研究開発コラボレーション活発化による技術革新
 - 技術革新により、SDGs全ての解決を加速（根本となる技術が発展）
 - 研究者の幸福（本当にやりたい研究をやれる自由を獲得）

この取組をさらに全国・世界へと広げていき、各研究開発組織の間の障壁がなくなり、誰もが使いたい技術を使ってイノベーションを起こしていけるような社会を実現します。

